

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、ブラジル中銀による為替介入規模の拡大やFRBのフィッシャー副議長の発言を受けて足許のレアル売りも一服した。3.52台半ばから取引は始まったものの、引けにかけて終始ドル売りレアル買いが優勢となり、3.43台後半で取引を終えた。フィッシャー氏は、「現在の低水準の物価は原油安などによる一時的なもの」と指摘し、利上げにあたっては今後の物価上昇の動きを予想して判断していく考えを示した。同氏はまた、「米労働市場はほぼ完全雇用の状態にあるものの、物価は依然として非常に低い水準である」との見解を示し、物価の低さがFRBの利上げへの慎重姿勢の背景にあると説明。先週公表された米7月雇用統計を受け、マーケットでは9月利上げを予想する声が優勢になりつつあったが、同氏の発言によりやや不透明感が増した。

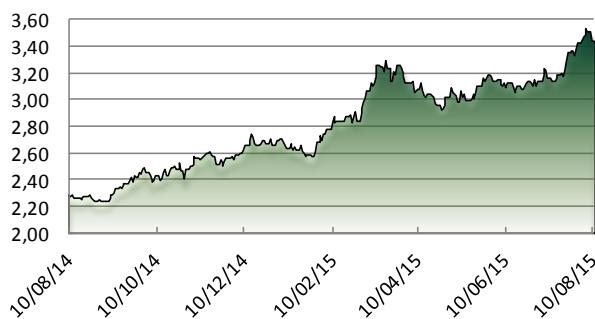
中銀が公表した週次サーベイによると、年末の成長率見通しが前週の1.80%減から1.97%減へ下方修正(4週連続)された他、インフレ率(IPCA)見通しも9.25%から9.32%へ引き上げられた。なお、7日には7月IPCAが公表されており、前年比で9.56%を記録。6月の8.89%から上昇が加速した(2003年11月以来約12年ぶりの高い伸び)。また、ドルレアルスポット相場見通しも足許のレアル急落を背景に、3.35から3.40へ修正された。

マーケットデータ

Indicator		Unit	8月7日	8月10日	前日比	7月10日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,5072	3,4376	-0,0696	3,1602	+0,2774
	対円	JPY	35,41	36,27	+0,86	38,86	-2,59
	対ユーロ	BRL	3,8477	3,7880	-0,0597	3,5237	+0,2643
円	対ドル	JPY	124,24	124,63	+0,3900	122,78	+1,8500
	対ユーロ	JPY	136,24	137,33	+1,09	136,92	+0,41
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index		48.577	49.353	+776	52.591	-3.238
CDS Brazil 5yrs (クレジット・フルストップ)	bps		326,3	318,6	-7,7	256,8	+61,8
Brazil 10yrs Gov. Bond	%		13,84	13,65	-0,19	12,60	+1,05
DI Future Oct16 (金利先物)	%		14,48	14,34	-0,14	13,80	+0,54
3 Months US Dollar Libor	%		0,312	0,314	+0,002	0,286	+0,028
CRB Index (国際商品指数)	Index		198,3	202,5	+4,2	218,3	-15,8

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

